

# 日刊金属

発行所 株式会社メタル情報センター

本社 〒530-0043  
大阪市北区天満2-12-3  
南末広ビル3階E号  
電話(06)6353-7831(代表)  
FAX(06)6353-7832

東京支社 〒104-0033  
東京都中央区新川1-31-8  
ニッケハイム茅場町  
電話(03)3523-0442(代表)  
FAX(03)3523-0443

購読料 6ヶ月 36,750円 前金  
3ヶ月 18,900円

アルミ  
くず

## 関西アルミ9月前半も横ばい推移 8月全体の流れを引きずる スクラップ発生自体の少なさも要因の一つか

関西アルミスクラップの9月前半は、前月同様横ばい推移の流れになるようだ。

この背景には8月のお盆休みを間に挟んだことが大きな要因だが、スクラップ自体の発生量の少なさや2次合金メーカーの電力料金値上げに絡んだ生産量の抑制などの要因が複雑に絡み合った結果である。

だがLMEアルミ相場が9月12日入電でセツルメントが2,058ドルと2千ドル台で推移し、LME相場の上昇が今後の市中相場のアップに繋がるのではないかとの見方をする問屋筋もあり、9月後半から先を見越しての在庫確保に動く問屋の気配もある。

ある大手問屋は、「9月後半からLMEの相場を見ながら、こちらも少しずつ相場を上げられるようにしていきたいが、そうすると地方の業者が溜め込んでいる品物が2次合金メーカーに流れ込む気配もあり、そうすると合金メーカーからの断り値が出る可能性も出てくる。大阪全体が他の地域と比較すると陥没地帯のような感じになっているので、魁

加減一つで現状より更に相場の悪化の可能性も無くはない」と話した。

### アルミ2次合金メーカー買値実勢値 (1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

#### 関東地区 (9月前半)

2S=136円~139円、63S=136円~139円、アルミホイール(1P)=132円~138円、ビス付サッシ=118円~121円、エンジンコロ=116円~123円、込合金(機械铸件)=106円~112円、缶プレス(ソフト)=96円~100円

#### 関西地区 (9月前半)

2S=130円~137円、63S=128円~135円、52S=119円~126円、印刷板=133円~140円、アルミホイール(1P)=131円~136円、ベースメタル=153円~163円、機械铸件=97円~106円、ドライ粉=83円~93円、ビス付サッシ=100円~106円、缶プレス=88円~98円

## 8月のアルミスクラップレポートおよび9月の見通し

橋本金属×アルミ 橋本健一郎氏

予測レンジは、LME現物後場買い1800-1900ドル、スクラップは前月最終価格より据え置きから-5円

■概況:前半はECBが欧州高債務国の国債買い入れや米FRBの追加的金融緩和(QE3)期待で上昇する場面もあったが中国鉱工業生産が+9.2%と予測の+9.7%を、小売売上高が+13.3%と予測の+13.1%を下回った事を嫌気し下落1810ドルと50ドル下

落しての前半締めとなった。

後半は中国不動産価格の上昇に伴う金融緩和期待の後退や不動産規制引締め観測など、マイナス材料から1800ドルを切る場面もあったが、中国温家宝首相および当局高官が利下げに関してコメントした事やHSBCのPMI指数(消費者物価)が47.1と景気過熱感となる50を下回った事による金融緩和期待から反発。9月1日現在、LME(現物

後場)は1850ドルとほぼ下落分を取り戻し9ドル下落のスタートとなった。

■前月の経済指標:日本自動車工業会によると自動車生産台数は前月比+3.3%の92万2685台であった。日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前月比-29.2%の23万2372台(前年比+7.3%)。国土交通省によると新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)+4%(昨年比-9.6%)の7万5421戸であった。

また、財務省貿易統計によれば輸出はアルミ新地金が前月比+40.4%の164t、2次合金が-24.6%の631t、スクラップが-9.5%の11524t。輸入は新地金が前月比+32.8%の15万9293t、2次合金が+4.1%の9万4763t、スクラップが-27.8%の496t、合金スクラップは-4.9%の2690tとなった。

■前月の国内指標:日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前月比+1.3%の17万5963t(昨年対比+1.3%)。日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム2次合金・同合金地金等生産実績は、前月比+4.9%の7万432t(昨年対比+4.1%)であった。

■見通し:今月は絶好調であった自動車関連で販売台数でついに伸び悩み、また住宅関連も伸び悩み、軽圧品は安定してるものの家電関係の悪化が足を引っ張る形となった。欧州懸念は独メルケル首相がユーロ防衛に意欲を示した事やECBの国債購入再

開期待からから現在は安定。

自動車生産は前年比+16.7%の92万2685台と12カ月連続上昇し、堅調に推移。ただ国内自動車販売台数が23万2372台と前年比+7.3%と伸び悩んだ(前月比-29.2%)。自動車関連のアルミ2次合金生産は昨年対比+4.1%と5カ月連続上昇、今後は販売台数の減少による生産調整が考えられる。

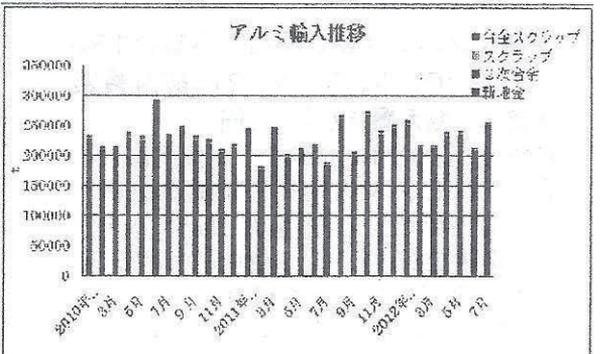
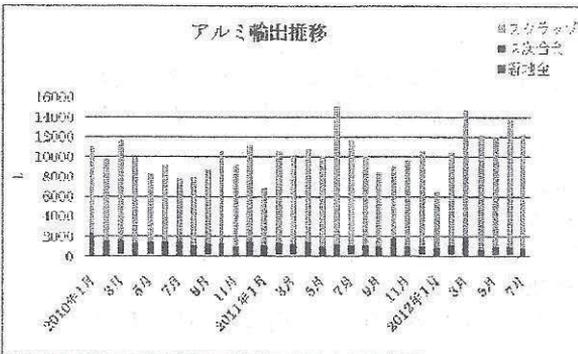
その他、住宅・家電需要が見込める圧延・押出品生産数は前月比-0.3%の17万5963t。昨年対比+1.3%と自動車・住宅に支えられ小幅増加。新設住宅着工数は季節調整前月比+4%の7万5421戸 前年比は-9.6%と大幅減少、ただし住宅エコポイント切れ前の駆け込み需要の反動か。

輸入塊は上海シグマなどのハイグレード物で8月末 現在 最高値2200ドル(+20)、ロシア塊は1900ドル(+50)。輸入は新地金が前月比+32.8%の15万9293t、自動車関連の2次合金は+4.1%の9万4763t スクラップは-27.8%の496t、合金スクラップ

	5月	6月	7月
生産台数	78万1349台	89万3149台	92万2685台
前月比	-2.3%	+20.1%	+3.3%
昨年対比	+19.5%	+20.3%	+16.7%
	5月	7月	8月
販売台数	31万1152台	32万8543台	23万2372台
前月比	+34.2%	+3.6%	-29.2%
昨年対比	+40.9%	+36.1%	+7.3%
	5月	6月	8月
新設住宅着工数	6万9638戸	7万2566戸	7万5421戸
季節調整 前月比	+0.8%	+7.3%	+4%
昨年対比	+9.3%	-0.2%	-9.6%
	5月	6月	7月
輸出			
新地金	146t	116t	164t
前月比	+74%	-20.5%	+40.4%
2次合金	716t	837t	631t
前月比	+9%	+16.9%	-24.6%
スクラップ	10067t	12736t	11524t
前月比	-2.7%	+26.5%	-9.5%
	5月	6月	7月
輸入			
新地金	13万1889t	11万9908t	15万9293t
前月比	-10.9%	-9.1%	+32.8%
2次合金	10万5156t	9万1000t	9万4763t
前月比	+20.3%	-13.5%	+4.1%
スクラップ	711t	687t	496t
前月比	+4.6%	-3.4%	-27.8%
合金スクラップ	3678t	2828t	2690t
前月比	-2%	-23.1%	-4.9%

輸出	5月	6月	7月
新地金	146 t	116 t	164 t
前月比	+74%	-20.5%	+40.4%
2次合金	716 t	837 t	631 t
前月比	+9%	+16.9%	-24.6%
スクラップ	10067 t	12736 t	11524 t
前月比	-2.7%	+26.5%	-9.5%

輸入	5月	6月	7月
新地金	13万1889 t	11万9908 t	15万9293 t
前月比	-10.9%	-9.1%	+32.8%
2次合金	10万5156 t	9万1000 t	9万4763 t
前月比	+20.3%	-13.5%	+4.1%
スクラップ	711 t	687 t	496 t
前月比	+4.6%	-3.4%	-27.8%
合金スクラップ	3678 t	2828 t	2690 t
前月比	-2%	-23.1%	-4.9%



は-4.9%の2690t。輸出は新地金が前月比+41.4%の164t。2次合金が-24.6%の631t スクラップが-9.5%の1万1524t。

アルミ原料需給に関して震災の復興需要も一段落、新設住宅着工数も住宅エコポイントの反動ではあるが前年比-9.6%とこちらも一段落。最大の需要家である自動車メーカーの自動車販売が-29.2%(前月比)+7.3%(前年比)とついに伸び悩み。2次合金生産も+4.9%(前月比)と今後も販売減少による伸び悩みが考えられる。以上から今月も引き続き2次合金メーカーは販売台数の伸び悩みや先行き不安(欧州問題)を背景に購買意欲はあまりない。

前月にLME価格については弱含み横ばい。独メルケル首相のユーロ救済関する積極発言や中国の景気対策期待がでる一方で米、欧州の経済指標好転から追加的金融緩和(QE3)が行われる可能性が今月は低い事などから上値は1900ドル。ただ下値

も前月に続き最悪の場合は米、中の金融緩和の期待(あくまで期待)が下支えし限定的で1800ドルが下値。スクラップ価格については8月後半価格から据え置きから-5円予測。

## 1号 ピカ線

### 高価買取ます


杉本金属 株式会社

〒556 大阪市浪速区桜川4-9-21  
 TEL(06)6561-9071(代)  
 FAX(06)6567-3648

**貴金属**

## 東工取、2012年8月の取引概況を発表

東京工業品取引所は2012年8月の取引概況を発表した。

それによると、1日平均取引高は、白金が前月比9.1%増の1万2,164枚や銀が前月比55.6%増の449枚、などが増加となったものの、主力である金が前月比3.1%減の3万4,709枚や金ミニが前月比26.9%減の6,080枚などが減少したことから、全体では前月比6.4%減の7万7,627枚となった。

今回の取引高減少の要因として、欧州債務問題への不安や世界経済の先行き不透明感が依然払拭されず、リスク回避ムードが続いていることや8月末の米FRB議長講演を控え市場参加者が様子見姿勢を強めていたことなどが考えられる。

なお、8月末時点での全商品合計取組高は32万8,680枚となり、前月末時点から1万1,246枚の増加となった。

**三井金属**

## 亜鉛建値は5千円引き上げの20万円 月内建値平均は19万7,100円に

三井金属鉱業は12日、亜鉛建値を5,000円引き上げの20万円と同日から実施すると発表した。

これはLME亜鉛相場が上昇して推移したことを受けて引き上げられたもので、このまま建値に変更がなければ、月内建値平均は19万7,100円となる。

12日入電のLME亜鉛相場がセツルメントでは1,976.5ドルとなり、これと同日発表のTTSレート78.89円から換算した採算価格は15万5,900円となり、建値と採算価格からみ

た諸掛かりは4万4,100円となる。

直近6ヶ月の建値推移は次の通り。

(単位キロ当たり円、かっこ内は改定日)

・2012年				
4月	=210(2)	205(11)	210(23)	平均208.0
5月	=205(7)	200(14)	195(18)	平均198.7
6月	=195(1)	190(22)		平均193.6
7月	=195(2)	190(23)		平均193.3
8月	=190(1)	185(20)	190(27)	平均188.9
9月	=190(1)	195(7)	200(12)	平均197.1